

令和6年度司法書士試験筆記試験（記述式問題）の出題の趣旨

本年度の司法書士試験筆記試験の記述式問題は、以下の事項に関する知識及び能力を試すための出題です。

【第36問】

問1について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、建物の増築がされたことにより増築部分が建物に付合したことを読み取った上で、当該増築部分の所有権が誰に帰属するか及びその理由についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの（なお、理由部分については、問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から必要な事実を摘示し、それを定立した規範に当てはめて論述する必要がある）

問2について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、抵当権の抹消の登記、代物弁済を登記原因とする所有権の移転の登記及び抵当権の設定の登記を申請すべきことを読み取った上で、申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の計算方法についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問3について

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、遺贈を登記原因とする所有権の移転の登記及びその前提として申請が必要となる登記を読み取った上で、申請情報及び添付情報の内容並びに登録免許税の計算方法についての理解を問い、その正確な記載を求めるもの

問4

相続の放棄をした者による管理（民法第940条第1項）についての理解を問うもの

問5

問題文に記載された事実関係及び別紙として示された資料から、所有権の登記名義

人に相続財産の清算人が選任された場合に必要となる登記の申請情報及び登録免許税の計算方法についての理解を問ひ、その正確な記載を求めるもの

【第37問】

問1について

取締役、代表取締役、監査役及び会計参与の変更、会計参与設置会社の定めの設定、監査役設置会社の定め廃止、監査役の監査の範囲を会計に関するものに限定する旨の定款の定め廃止、公告をする方法の変更、募集株式の発行につき、提示された資料を読み取り、代表取締役の辞任により代表取締役の員数を欠かないが取締役の員数を欠く場合における権利義務承継等に留意しながら、登記の申請書を正確に記載した上で、当該申請書の添付書面を特定し、納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問2について

取締役及び代表取締役の変更、株式交付による変更、非業務執行取締役等の会社に対する責任の制限に関する規定の設定につき、提示された資料を読み取り、役員就任に伴う権利義務承継者の退任、株式交付の方法及び効果等に留意しながら、登記の申請書を正確に記載した上で、当該申請書の添付書面を特定し、納付すべき登録免許税の額を正確に計算することを求めるもの

問3について

会社法第426条第1項に規定する役員等の責任免除に関する定款の定め設定の要件についての正確な理解を問うもの